

令和元年度「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業（研究協議会）」

第1回 検討会2 議事録

1 日時 2019年8月1日（木）13：30～15：30

13：30～14：00 全体会

14：00～15：30 検討会2

2 場所 日本女子会館 We learn

東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館ビル5階

3 出席者

【検討会1】「大学が中心となった女性の学びとキャリア形成支援」

井出 あゆみ 特定非営利活動法人全国女性会館協議会常任理事  
特定非営利活動法人浜松男女共同参画推進協会理事長

黒澤 あずさ 特定非営利活動法人全国女性会館協議会常任理事  
公益財団法人日本女性学習財団学習事業課長

白井 文 ブラザー工業株式会社社外取締役  
一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事

杉浦 浩美 埼玉学園大学准教授

中野 洋恵 独立行政法人国立女性教育会館客員研究員

納米 恵美子 特定非営利活動法人全国女性会館協議会代表理事  
公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会理事

【検討会2】「困難な状況にある女性のための学び直しを通してキャリア支援」

小園 弥生 男女共同参画センター横浜南館長

桜井 陽子 特定非営利活動法人全国女性会館協議会顧問  
世田谷区男女共同参画センター館長

柴田 美代子 特定非営利活動法人全国女性会館協議会常任理事  
東京ウィメンズプラザ事業推進担当主任専門員

竹原 正篤 法政大学特任准教授、特定非営利活動法人全国女性会館協議会理事

谷口 年江 特定非営利活動法人全国女性会館協議会常任理事  
特定非営利活動法人男女共同参画フォーラムしずおか理事

山屋 理恵 特定非営利活動法人全国女性会館協議会理事  
特定非営利活動法人インクルいわて理事長

【検討会2・ゲストスピーカー】

阿部 若奈 公益財団法人せんだい男女共同参画財団

【統括責任者および事務局】

納米 恵美子 公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会理事  
特定非営利活動法人全国女性会館協議会代表理事

坂田 静香 特定非営利活動法人全国女性会館協議会常任理事・事務局長  
特定非営利活動法人男女共同参画おおた理事長

花岡ナオミ 特定非営利活動法人全国女性会館協議会事務局員

- 4 資料 【全体会】①文科省提出書類「業務計画書」  
②文科省プレゼンテーション PPT 資料  
「男女共同参画推進の学び・キャリア形成支援」における研究協議会提案  
③平成 30 年度女性の学ぶ・働く・生きる応援フェスタ」当日配布チラシ
- 【検討会 2】①仙台市男女共同参画推進センター「自立を目指すじょせいのための  
“学び直し”を通じたキャリア支援事業・レジュメ  
② 同上 パンフレット  
③横浜市男女共同参画センターにおけるガールズ支援についてのメモ  
④新聞記事 2 種  
⑤「ガールズ講座」第 2 回修了者調査結果要約  
⑥「めぐカフェ」就労体験者アンケート  
⑦「めぐカフェ」就労体験者調査報告会抄録  
④「ガールズ編しごと準備講座」チラシ  
⑤「めぐカフェ」リーフレット  
⑥「若年無業女性のための就業支援に関わる特定寄付金」リーフレット

## 5 全体会

### (1) 自己紹介（全員）

### (2) 事業趣旨およびスケジュール説明（納米）

女性の労働力化、雇用の流動化、「人生 100 年時代」におけるキャリアのあり方が模索される中で学び直しが必要であるという認識のもと、政府は各種の施策を行おうとしているのではないかと理解している。内閣府においては、2019 年度の男女共同参画のキャッチフレーズは「男女共同参『学』」であり、2019 年 3 月に「多様な選択を可能にする学びに関する調査報告書」を作成・発表している。

今回の文科省の事業は女性のキャリア形成と男女共同参画の学びを一体的に行う者でその効果等を調査および研究・報告する内容。協議会は後者の研究・報告の枠組みで採択された。以下文科省に提出をした申請書をもとに概要説明。

## 6 検討委員会 2

### (1) 検討委員会 2 の調査検討内容について

- ・男女センターで先行的に実施されている、困難な状況にある女性の学び直し支援のプログラムを把握し、各地の男女共同参画センターが実施できるよう、モデルプログラムを作成する。
- ・その際、男女共同参画センターが中心となり、地域の社会資源との協働を見える化するプログラムとする。

### (2) スケジュールについて

- ・8 月～1 月までに 4 回の検討会を実施

- ・第2回検討委員会（9月）の前に、2件の視察（ヒアリング）を実施
- ・2月に研究協議会として検討会1、検討会2の研究成果を発表（場所：東京ウィメンズプラザを予定）

### （3）事例検討

- ・すでに先行的に実施しているせんだい男女共同参画財団、横浜市男女共同参画推進協会（フォーラム南太田）の事例を聞き、意見交換

#### 公益財団法人せんだい男女共同参画財団（総務企画課・阿部若奈）

「自立を目指す女性のための“学び直し”を通じたキャリア支援事業」

高校中退・中卒者等、10代で十分な学びの経験を得ることができなかった方対象  
カスタムメイドで伴奏型の学習支援による基礎学力の向上をはかるとともに、あ  
わせてキャリア相談員による就業支援も行う。

2018年度より文部科学省「男女共同推進のための学び・キャリア支援事業・実証  
事業」として開始。今年度も引き続き受託。

#### 公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会（小園弥生）

「ガールズ支援」

働くことに悩みをかかえている15～39歳のシングル女性を対象

2009年度ガールズ編しごと準備講座（ガールズ講座）として、開始。自己開示を求  
めない、グループダイナミクスを意図。現在まで21期終了。就労体験の場として  
2010年より「めぐカフェ」を開設。2015年からは、地域の起業・NPO等の協力を  
得て、社会参加体験事業を実施。

#### 感想と意見

- ・このような事業の社会的意義は疑いがない。全国規模として実施すべき。
- ・“自己肯定感の取得”、“学び直し”、“就業支援”の3つを有機的に連携して支援できる  
ことが男女センターの強みではないのか。
- ・これらを同時に行うには、財源が必要。大手企業の協力を得る方法も考えたい。それ  
には広く周知する必要がある。
- ・“学び直し”だけではなく、実際の就労に結びつくことが最終目的。就労先の受け皿と  
しての地域企業、NPO等の連携協力が必要。
- ・この事業を必要とする対象者の発掘と参加に至るまでの段階で、地域社会資源との連携  
が必要になってくる。

### （3）その他の団体の取り組みについての情報収集と共有。

- ・自センターの予算内で、このような事業を一体として実施しているところは少ない  
のではないかと？学習支援等のNPO団体等、いろいろな団体に参加してもらっての  
実施の例はある。

(4) 視察先の決定

近日中に選出して、次回検討会までに視察が終わるようにする。

(5) 次回検討会 2 開催日について

9月18日(水) 15時～(予定) **※その後 16時～に変更になりました。**

於 日本女子会館ビル 5階 We learn